

**岩手県支部 委員会・研究会 活動報告**

活動名	令和3年度河川研究会報告現場研修 (CPD 番号 3- 2 )
主催	公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部河川研究会報告
日時	令和3年10月8日(金) 10:30 ~ 15:00
場所	宮古市、山田町
参加人数等	会員：18人 説明：岩手県宮古土木センター職員

**活動内容**

1 事業概要 東日本大震災津波により被災した宮古市、山田町における津波対策、港湾埠頭整備、令和元年東日本台風復旧に関すること (1) 宮古市出崎埠頭整備) 目的：ふ頭用地、緑地 (2) 鉾ヶ崎防潮堤) 目的：発生頻度の高いL1津波対策TP+10.4m、プレキャスト防潮堤L=約1.6km、陸閘9基、事業期間：平成23年度～令和元年度 (3) 閉伊川水門) L1津波対策 TP+10.4m、カーテンウォール+水門4門 W=164.4m、吊上げは2モーター4ドラム、事業期間平成23年度～令和8年度 (4) 山田町田の浜砂防) 目的：令和元年東日本台風土石流対策 部分透過型砂防堰堤L=67m, h=10.5m, 計画流出土砂量12,794m<sup>3</sup>, 事業期間：令和元年度～令和5年度 (5) 関口川水門) 目的：L1津波対策TP+9.7m、カーテンウォール+水門2門 W=71.8m、吊上げはチェーン式、事業期間：平成23年度～令和3年度

2 現場研修 ※新型コロナウイルス感染症対策を講じ研修を行いました。特記事項を掲載。  
 (1) 出崎埠頭) 川側の埠頭、利用しない理由→係船数を考慮 (2) 鉾ヶ崎防潮堤) ・防護区域には、どの程度人が帰ってきたか→住宅地には部分的に空地ある。・陸閘自動閉鎖の操作規則は？→立地条件等に応じた待機時間を考慮しながら津波来襲最短24分間で閉鎖が完了できるように設定 (3) 閉伊川水門) 杭長は？→最長部で約50m、船舶航路部のゲート構造に関する事。進捗率は？→約55% ☆設計・施工計画、管理に関し様々質疑応答が交わされました。☆令和3年度、8年度までの完成に向け着実に進捗していることを実感しました。

(1) 出崎埠頭：宮古市)



(3) 閉伊川水門：宮古市)



(4) 山田町・田の浜砂防) 工期短縮の工夫=コンクリートのスランプ 5→8 cm、残存型枠採用、薬剤利用によるレイタンス処理。災害関連緊急砂防事業と砂防激甚災害対策緊急事業のすみ分けに関する事→高さ9.5mを境 (5) 山田町・関口川水門) 設計津波高さに関する事、鋼矢板の構造に関する事、近接の防潮堤に係る地盤改良に関する事 ☆設計、施工計画に関し様々質疑応答が交わされました。☆砂防：令和5年度、水門：令和3年度の完成に向け着実に進捗していることを実感しました。

(4) 田の浜砂防：山田町)



(5) 関口川水門：山田町)

